NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

第21期 中間報告書

平成26年1月1日 ▶ 平成26年6月30日



日本コンセプト株式会社

証券コード：9386

株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第21期第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）における取組み及び成果についてご報告申し上げます。

なお、前期までに着実に内部留保が充実してきており、今期の業績も堅調な推移が予想されることから、株主還元を従来以上に高めることが可能と判断し、平成26年12月期の1株当たり期末配当予想を、前回予想の30円から15円増配し、45円に修正いたしました。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援とご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成26年9月

代表取締役社長

松元　孝義

事業の概況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、1-3月は消費税率引き上げ前の駆け込み需要も手伝って堅調に推移しました。4月以降は引き上げの反動による景気の一時的な停滞を余儀なくされましたが、政府の経済対策や、雇用回復などが景気を下支えし、景気減速に下げ止まる兆しがうかがわれました。

一方、世界に目を向けますと、米国では、年初は寒波等の影響で一時的に景気が減速したものの、その後はシェール革命等を背景とする製造業の復活の動きが顕在化する中、雇用環境が改善し、個人消費も拡大する等、景気回復の足取りが加速しました。欧州では、ユーロ高の定着やアジア諸国等の景気伸び悩みにより輸出が弱含むなど、回復傾向は続いているものの、回復のペースは緩慢なものとなりました。新興国においては、経済成長の勢いに陰りが出ておりますが、中国の経済対策の効果等により景気減速に歯止めがかかる兆しがみられました。

日本コンセプト株式会社　経営理念

1．わたしたちは、効率的な国際液体物流システムを構築・運営することにより、
　世界中のお客様に貢献します。
2．わたしたちは、きめ細かい高品質なサービスをお客様に提供します。
3．わたしたちは、働く厳しさと喜びを共有し、
　国際液体物流のプロフェッショナル集団となることを目指します。
4．わたしたちは、公共性・信頼性・国際性を備え、社会に誇り得る会社となることを目指します。

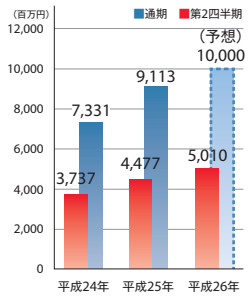
このような状況のもと、当社グループにおきましては、輸出が、円安の定着、米国経済の回復、アジア経済の下げ止まり等を背景として順調に増加しました。輸入は、円安により輸入価格が上昇するという厳しい環境の中、国内需要の回復に支えられる形でこれまで堅調に推移してきましたが、ここにきて消費税率引き上げに伴う景気減速などを受けた停滞がみられました。一方、三国間取引は、東南アジアやヨーロッパ等での減少に歯止めがかかり、回復に転じました。輸出、輸入、三国間取引の合算でみると当社グループ全体での取扱高は順調に増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,010百万円（前年同期比11.9%増）となりました。また、利益面では、営業利益は931百万円（前年同期比11.0%増）、経常利益は793百万円（前年同期比27.1%減）となり、法人税等差引後の四半期純利益は497百万円（前年同期比24.8%減）を計上しました。

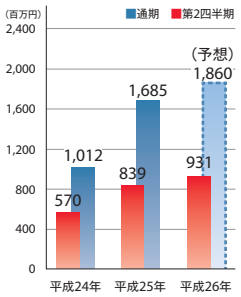
なお、経常利益並びに法人税等差引後の四半期純利益が前年同期を下回った理由は、当第2四半期連結累計期間におけるデリバティブ評価損14百万円（前年同期は248百万円のデリバティブ評価益）と為替差損20百万円（前年同期は115百万円の為替差益）が発生したことから、営業外費用は147百万円（前年同期は132百万円）と微増にとどまったものの、営業外収益が9百万円（前年同期は381百万円）と大幅な減少に至ったためであります。

財務ハイライト（連結）

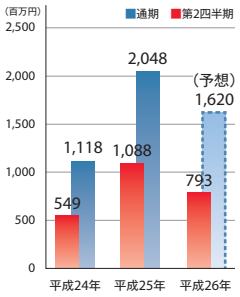
■売上高



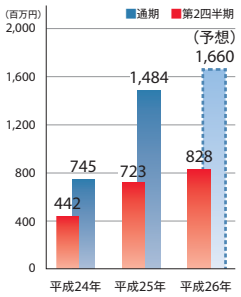
■営業利益



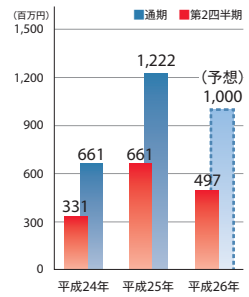
■経常利益



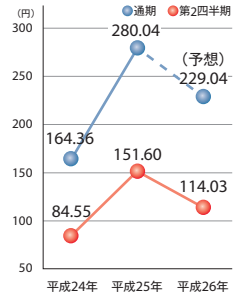
■経常利益（「通貨オプション損益・為替差損益」除く）



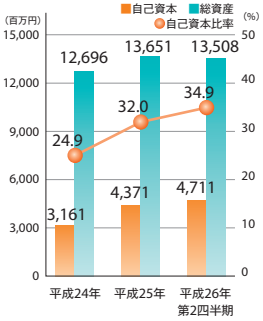
■四半期（当期）純利益



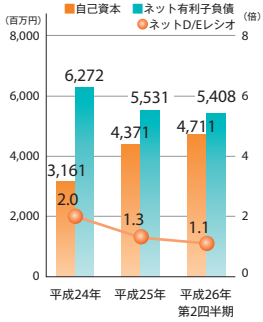
■1株当たり四半期（当期）純利益



■自己資本比率



■ネットD／Eレシオ※



※ネットD／Eレシオ（倍）＝（有利子負債－現預金）÷自己資本 … 長期の支払能力（安全性）をはかる指標

私たち日本コンセプトは、さまざまな液体貨物輸送に伴うお客様のニーズに最適なソリューションを提供しています。そのための海外での拠点であるマレーシア現地法人をご紹介します。

マレーシアは、豊富な石油・天然ガス資源と世界第2位のパーム油生産量を背景に、世界有数の化学工業の一大拠点へと近年急成長を遂げています。当社は、マレーシアの成長性と優秀で豊富な人材、安い人件費や原材料費に着目し、平成14年12月、現地法人として、NIPPON CONCEPT MALAYSIA SDN. BHD.社（以下、NCM社）を設立しました。

NCM社は、専門技能等を有する優秀な人材を低コストで多数確保することにより、通常のタンクコンテナの洗浄・メンテナンスに加えて、特殊な貨物を運搬した後の洗浄や、事故や経年劣化により損傷したタンクコンテナの大規模修繕のための各種機能を備えています。

タンクコンテナをグローバルに運用するなかで、NCM社に大規模修繕の機能を集約することにより、当社グループ全体として経済的かつ効率的な修理体制を構築しています。



NCM社でのメンテナンス作業風景
（左：溶接修理　右：不動態化処理設備）



NIPPON CONCEPT MALAYSIA SDN.BHD.（平成26年8月撮影）
設　立：平成14年12月
面　積：10,498㎡

エキスパートによる修理のメリット

NCM社は、洗浄・メンテナンスを行うスタッフのほか、修理部門に専門の熟練スタッフを配置しています。タンクコンテナの缶体外部を保護するFRPの張替や、缶体を支える外部フレームの溶接修理、タンクコンテナ内部の耐食性向上のための不動態化処理等、専門知識と熟練した技能を必要とする業務にこれらのエキスパートを配置し、内製化することで、安全・安心で高品質なタンクコンテナを提供する体制を構築しています。

これによりタンクコンテナの経済的耐用年数（20年）を延ばすことが可能となり、長期的な視野に立って、当社グループ全体でのタンクコンテナへの投資に対する利益の極大化を図っています。

連結業績推移

区　分		第18期（平成23年12月期）	第19期（平成24年12月期）	第20期（平成25年12月期）	第21期第2四半期（平成26年12月期）
売上高	（百万円）	7,473	7,331	9,113	5,010
売上総利益	（百万円）	2,125	2,035	2,818	1,520
営業利益	（百万円）	1,259	1,012	1,685	931
経常利益	（百万円）	907	1,118	2,048	793
四半期（当期）純利益	（百万円）	533	661	1,222	497
純資産	（百万円）	2,064	3,161	4,371	4,711
総資産	（百万円）	11,671	12,696	13,651	13,508
１株当たり純資産	（円）	527.21	724.18	1,001.17	1,079.26
１株当たり四半期（当期）純利益	（円）	136.32	164.36	280.04	114.03
自己資本比率	（%）	17.7	24.9	32.0	34.9
自己資本当期純利益率	（%）	29.2	25.3	32.5	11.0
営業活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	1,115	493	1,425	753
投資活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△ 238	△ 952	△ 245	22
フリーキャッシュ・フロー	（百万円）	876	△ 459	1,179	775
財務活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△ 945	401	△ 717	△ 747

（注）当社は平成24年6月19日付で普通株式1株につき、1,000株の割合で株式分割を行いましたが、第18期（平成23年12月期）の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産及び1株当たり当期純利益を算定しております。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科目	第19期（平成24年12月31日）	第20期（平成25年12月31日）	第21期第2四半期（平成26年6月30日）	増減
【資産の部】				
流動資産（※1）	2,598	3,471	3,215	△255
現金及び預金	1,693	2,068	1,961	△107
売掛金	787	1,015	961	△54
その他	118	388	294	△94
貸倒引当金	△0	△1	△0	0
固定資産（※2）	10,079	10,170	10,286	116
有形固定資産	9,865	9,956	10,063	106
建物及び構築物（純額）	542	737	723	△13
タンクコンテナ（純額）	7,488	7,372	7,472	100
土地	1,568	1,568	1,568	0
その他（純額）	264	278	298	19
無形固定資産	88	98	104	6
投資その他の資産	125	115	119	4
繰延資産	18	9	5	△4
資産合計	12,696	13,651	13,508	△143

科目	第19期（平成24年12月31日）	第20期（平成25年12月31日）	第21期第2四半期（平成26年6月30日）	増減
【負債の部】				
流動負債（※3）	2,789	3,403	3,173	△230
買掛金	505	636	691	55
短期借入金	63	70	102	32
1年内返済予定の長期借入金	1,178	1,378	1,414	35
1年内償還予定の社債	344	324	242	△82
リース債務	100	109	148	38
未払法人税等	284	570	297	△272
賞与引当金	18	20	20	0
その他	294	293	255	△37
固定負債（※4）	6,745	5,876	5,623	△253
社債	554	230	140	△90
長期借入金	5,066	4,744	4,313	△430
リース債務	659	594	878	284
退職給付引当金	56	64	70	5
その他	409	243	220	△23
負債合計	9,535	9,280	8,796	△484
【純資産の部】				
株主資本	3,215	4,306	4,673	366
資本金	600	600	600	0
資本剰余金	526	526	526	0
利益剰余金	2,088	3,179	3,546	366
自己株式	—	△0	△0	△0
その他の包括利益累計額	△53	64	38	△25
純資産合計（※5）	3,161	4,371	4,711	340
負債純資産合計	12,696	13,651	13,508	△143

※1　現金及び預金107百万円、売掛金54百万円、その他94百万円の減少等により流動資産は、前連結会計年度末比255百万円の減少となりました。

※2　タンクコンテナ（純額）100百万円、その他（純額）19百万円の増加等により固定資産は、前連結会計年度末比116百万円の増加となりました。

※3　買掛金が55百万円、短期借入金が32百万円、1年内返済予定の長期借入金が35百万円、リース債務が38百万円増加したものの、1年内償還予定の社債が82百万円、未払法人税等が272百万円減少したことなどから流動負債は、前連結会計年度末比230百万円の減少となりました。

※4　リース債務が284百万円増加したものの、社債90百万円、長期借入金430百万円の減少等により固定負債は、前連結会計年度末比253百万円の減少となりました。

※5　利益剰余金が366百万円増加したことなどから、純資産は前連結会計年度末比340百万円の増加となりました。

四半期連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科　目	第19期 平成24年１月１日から 平成24年12月31日まで	第20期 平成25年１月１日から 平成25年12月31日まで	第20期第2四半期 平成25年１月１日から 平成25年６月30日まで	第21期第2四半期 平成26年１月１日から 平成26年６月30日まで	増　減
売上高（※6）	**7,331**	**9,113**	**4,477**	**5,010**	**533**
売上原価	**5,296**	**6,294**	**3,085**	**3,490**	**404**
売上総利益	**2,035**	**2,818**	**1,391**	**1,520**	**128**
販売費及び一般管理費	**1,022**	**1,133**	**552**	**588**	**36**
営業利益	**1,012**	**1,685**	**839**	**931**	**91**
営業外収益	510	623	381	9	△ 371
営業外費用	404	261	132	147	14
経常利益（※7）	**1,118**	**2,048**	**1,088**	**793**	**△ 294**
特別利益	5	0	—	—	—
特別損失	4	56	23	—	△ 23
税金等調整前四半期（当期）純利益	**1,118**	**1,992**	**1,064**	**793**	**△ 271**
法人税等	457	769	402	295	△ 107
少数株主損益調整前四半期（当期）純利益	**661**	**1,222**	**661**	**497**	**△ 164**
四半期（当期）純利益	**661**	**1,222**	**661**	**497**	**△ 164**

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

科　目	第19期 平成24年１月１日から 平成24年12月31日まで	第20期 平成25年１月１日から 平成25年12月31日まで	第20期第2四半期 平成25年１月１日から 平成25年６月30日まで	第21期第2四半期 平成26年１月１日から 平成26年６月30日まで	増　減
営業活動によるキャッシュ・フロー（※8）	493	1,425	739	753	13
投資活動によるキャッシュ・フロー（※9）	△ 952	△ 245	△ 482	22	504
フリーキャッシュ・フロー	△ 459	1,179	257	775	517
財務活動によるキャッシュ・フロー	401	△ 717	121	△ 747	△ 869
現金及び現金同等物に係る換算差額	63	195	107	△ 32	△ 140
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	5	657	486	△ 5	△ 491
現金及び現金同等物の期首残高	1,293	1,298	1,298	1,956	657
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	1,298	1,956	1,785	1,951	166

※6　円安の定着、米国経済の回復、アジア経済の下げ止まり等を反映して輸出が順調に伸びたうえ、国内輸送売上や加温売上が増加したことから、売上高は前年同期比533百万円の増加となりました。

※7　売上高が増加したことにより営業利益は前年同期比91百万円増加したものの、営業外収益が前年同期比371百万円減少したことから、経常利益は前年同期比294百万円の減少となりました。なお、前年同期に計上した主な営業外収益は、為替差益115百万円とデリバティブ評価益248百万円です。

※8　増加要因として税金等調整前四半期純利益793百万円、減価償却費353百万円、仕入債務の増加額80百万円などがある一方、減少要因として法人税等の支払額559百万円などがあったため、営業活動により得られた資金は753百万円となりました。

※9　有形固定資産の取得による支出72百万円があったものの定期預金の解約に伴い99百万円を回収したことなどにより、投資活動により得られた資金は22百万円となりました。

■ 会社の概要

社名	日本コンセプト株式会社
設立	平成6年1月
資本金	6億44万円
従業員数	167名（連結）
業種	ISOタンクコンテナを用いた総合液体物流業
事業内容	液体物流に関わる国際複合一貫輸送 液体貨物の保管、加温、他輸送容器への積替 ISOタンクコンテナの洗浄、メンテナンス
取引銀行	三菱東京ＵＦＪ銀行、三井住友銀行、 みずほ銀行、商工組合中央金庫、 日本政策投資銀行、その他

■ グループ会社

NIPPON CONCEPT SINGAPORE PTE. LTD.
NIPPON CONCEPT MALAYSIA SDN. BHD.
EURO-CONCEPT B.V.
NICHICON EUROPE B.V.
NICHICON UK LIMITED.
NIPPON CONCEPT AMERICA, LLC.

■ 主な事業所所在地

本社	東京都千代田区内幸町二丁目2番2号 富国生命ビル8階
京浜支店	神奈川県川崎市川崎区浮島町12番8号
神戸支店	兵庫県神戸市中央区港島八丁目11番6号のうち
中部支店 中部営業所	三重県四日市市高浜新町1257番2号
徳山支店 徳山営業所	山口県下松市葉山一丁目819番13号
新潟出張所	新潟県新潟市東区船江町一丁目55番30号
大阪営業所	大阪府大阪市中央区高麗橋四丁目4番9号 淀屋橋ダイビル905

■ 役員

代表取締役社長	松元　孝義	常勤監査役	樋川　浩造
取締役副社長	山中　康利	社外監査役	有賀　隆之
取締役	仁科　善生	社外監査役	相浦　義則
取締役	若園　三記生		

■ 株式の状況

発行可能株式総数	15,664,000 株
発行済株式総数	4,366,000 株
株主数	1,354 名

上位10名の株主の状況

株主名	持株数（株）
松元　孝義	1,411,300
山中　康利	876,800
有限会社エスアンドアール	200,000
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	161,000
大田　宜明	120,000
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS	111,000
蓮見　正純	100,000
株式会社三菱東京UFJ銀行	100,000
株式会社三井住友銀行	100,000
有限会社エムアンドエム	100,000

■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
単元株式数	100株
基準日	12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711
上場取引所	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
証券コード	9386
公告方法	当社の公告方法は、電子公告としております。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりであります。 http://www.n-concept.co.jp/

（ご注意）
1．住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
　株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
　なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社にお申出ください。
2．未払配当金の支払いについて
　株主名簿管理人である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社にお申出ください。

VEGETABLE OIL INK
FSC www.fsc.org
ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C022915